

On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.22 オン・エア 2012

私のとっておきの武蔵野

市民が創る
むさしのFM78.2MHz
広報紙

緑と風が香る武蔵野。
大都会の中でここは休符みたい。
風の散歩道を
子供と歌いながら帰路に着く。
仲間と奏でる音楽が響く、
私の大好きな町三鷹。
澤田 理絵 (下連雀・
盲目のソプラノ歌手)

便利で魅力の多い
電車の駅周辺、緑の多い公園や
自転車ロード。優しい市民の皆様
支えられて、夢や希望をお返しできる
よう武蔵野で走り汗を流し続けます。
応援をお願いします。

福原 良英 (下連雀・
ブラインドマラソンランナー)

曲作りに行き詰まると銭湯。
天井に響く音や声の中、お湯に
浸かり思考も解放!というわけで
私の曲は「三谷湯」のお陰で出来ている、
と言っても過言でないのです。
引越して遠くなってしまうけれど、
大久保かおり
(小平市・
バンドネオン奏者)

9年前、新婚旅行で
はじめて訪れた吉祥寺。
ハーモニカ横丁の雑多な喧騒、
個性的な専門店の数々、
そして井の頭公園、
都会と自然のバランスが
「とっておきの魅力」です。
菊竹 進 (南町・
スモールデザイン代表)

吉祥寺駅より2分、
私が生まれ育ったところ。
緑豊かな井之頭公園。
狭い範囲にまとまった商店街。
武蔵野八幡宮の伝統ある秋祭り。
全国1番「住んでみたい街」、
私の自慢できる吉祥寺。

山崎 義勝
(吉祥寺本町・
むさしのばやし保存会)

明治・大正・昭和初期の
近代建築スケッチ旅も10年目。
念願の各都道府県最低1ヶ所、
全県制覇も残り4県。今年中に達成し、
来年は武蔵野プレイスで個展開催を!
平原 逸郎 (境南町・
洋館を訪ねて旅する日曜画家)

◎プログラムガイド(3ヶ月毎発行)は、
コミセン・市政センターなどで
ごらん下さい。

目次

特集

3・11を忘れない! p. 2 ~ 3

東日本大震災・フクシマ原発事故

- 「むさしの today」2011.4/1~2012.3/31..... p. 4 ~ 5
- 「発信!わがまち・武蔵野人」2011.5/1~2012.4/30.. p. 6 ~ 7
- 「発信!わがまち・武蔵野人」10周年記念コンサート..... p. 8
- 「研修バスツアー」ほか活動報告..... p. 8





3・11を忘れない!

東日本大震災・フクシマ原発事故

風化させず 日々の備えの教訓に!

中村 茂美 (東京消防庁災害時支援ボランティア応急手当普及員)

東日本大震災から1年余りが過ぎたが、果たして私たちの日常はどこまで戻ったのだろうか。被災された方々のことは片時も忘れることができません。しかし、地震大国日本列島に住んでいる以上、いつ震災がふりかかっても不思議ではなく、常に心していなければならないと思っています、いざとなると出来ることは限られています。

では、いざ災害発生!というとき、どのように対処したら良いのか、

10のポイントがあります。

- ① まず身の安全 (落ちてこない・倒れてこない・移動してこない)
- ② 火の元の確認・初期消火 (揺れがおさまってから)
- ③ あわてた行動はケガのもと (転倒した家具・外に飛び出さない)
- ④ 窓や戸を開け、出口を確保。
- ⑤ 門や塀には近寄らない (ブロック塀は危険)
- ⑥ 火災や津波、確かな避難を (楽観しない)
- ⑦ 正しい情報・確かな行動を (噂でなく、TV・ラジオ等から)
- ⑧ 確かめ合おう、我家の安全・隣の安否。
- ⑨ 協力し合って救出・救護。
- ⑩ 避難の前に安全確認。電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を締める。

平時にどう備えておけば良いのか、急ぐべき課題です。近い将来起こると予想される直下型地震を避けることができないとすれば、建物・家具の転倒を予防する。応急手当の方法を身につける。被災したときどう対処するか訓練する。改めて自助・共助の大切さが見直されています。これからは若年層への防災教育が一層求められており、居住地に確実に居る小・中学生たちへの働きかけが重要となります。それぞれの学年に応じた防災教育を身につけ、大いに役立つ人材となって欲しい。10歳の子供は10年すれば大人、更に10年後には親になります。多くの子供が学べば、これほど強力なことはありません。

そして近隣の方々との繋がりがより強く求められています。助けが必要な方を把握しておくことも重要です。また、正確な情報を得られることで、余計な不安に落ちることなく冷静に対処できます。ライフラインが途切れたときに必要な情報を求める声は、昨年の大震災・原発事故でも実証済みです。

地域のコミュニティ放送に求められているものも自ずと分かります。

「むさしのFM」に関わる私たちが今後の役割を認識し、備えが必要です。

新しい生活を目ざすときです。 小餅友子

当日は今までに感じたことのない激しい揺れを商工会館1階で体験したあと、駅周辺に人が溢れているのを横目に南町に向かいました。南町コミセンでは多少の落下物が有ったものの利用者は帰宅した方もなく普段通りでしたが、その後、余震の後は暗くなってきたこともあり、1人暮らしで不安だという方や、マンションなので心配だという方など、近所の方が、少しですが、コミセンに待機しにいらしゃいました。またコミセン前の井の頭通り沿いに多くの方が、西に向かって歩いていましたので、その時は帰宅困難者という言葉も知らずに、みなさんにトイレや電話、お水を提供。中にはそのまま翌朝までいらして、明るくなってからそれぞれの方角に帰って行く方も有りました。その日はそんな様子でしたが、しかし、その後東北の様子が次々ニュースに流れ、津波の被害が明らかになり、追い打ちをかけるように原発の事故が報道されるようになると、心が沈んでいくばかりでした。1年たって、地域では災害に備えて話し合いや訓練などが積極的に進められてきています。その中で認識されたのが、災害時には、自助・共助の大切さで、近所のお付き合いが改めて見直されていることです。この「近所」の範囲を日本中に広げ、この度の被災地の皆さんのためのみならず、日本人みんなが、便利さのために捨てて来てしまったものや、一部の人の言葉に乗せられた経済発展のために忘れてしまった心を拾いながら、これまでの生活を見直して、3・11を忘れずに新たな生活を目指しましょう。

東日本大震災から一年。 私達はまだ、震災の只中にいます。

金子 あい (女優・アーティスト)

この一年、むさしのFM市民の会の皆様にもご協力を頂きながら、チャリティライブ「フクシマを思うシリーズ」を4回吉祥寺で開催しました。心より御礼申し上げます。国と大手メディアが原発事故の状況をきちんと伝えない中

▲5/6 武蔵野人出演

で、私たち各々が自分のこととして福島とともに生きる覚悟を持ち、思いを寄せ、一人間として何をすべきかを考え続けなければならないと思っています。その活動のきっかけともなったのが福島在住の詩人・和合亮一さんの「詩の磔」との出会いです。震災直後から激しい余震と放射能が降る中でひたすらツイッターで書き綴った詩人の言葉の数々。どんな報道よりも福島の出来事を私達の胸に伝えました。私はこの言葉を伝えたい、伝えなければ、と原発事故以降、東京のみならず福島や熊本などあちこちで朗読してきました。また、福島県内の避難所や仮設住宅などにもお邪魔し音楽の演奏や朗読をしました。そうした活動を通じて福島に沢山の友人ができました。私たちのイベントの折には、福島の近況報告を寄せてくれます。「……双葉郡の分厚い電話帳も一冊ほぼ無用物となった。8ヶ月も過ぎてわかりきったことのはずなのに。おそらくもう二度と使われることのない電話帳は手にずしりと重い。ここに書かれた無数の名前が虚しくこの島国をさまよっているのだ。ハーメルンの笛吹き男の後に続いて消えていったのは子供たちではなかったのかもしれない。……」当事者である彼らの言葉一つ一つが胸に刺さり、そのたびに私は、これを伝えなければならないと思いを新たにします。先日、そうした便りと一緒に福島のお酒が送られてきました。その心遣いに恐縮しつつも、3月11日にはそのお酒で静かに献杯をしようと思います。この震災がなければ出会わなかったであろう人々の存在は、私にとって凍てつく寒さの中に見つけた力強く尊い芽吹きそのものです。

▲白河関の里 避難所



巨大津波から奇跡的生還! 杉本孝司氏の体験を聴こう。

◆この1年余に流れた数多のニュース・映像に、私たちはあらゆる感情を揺すぶられ続け、祈り、それぞれの立場でできることをして来た。復興支援はいよいよ本格化されなければならない、心も常に寄せていこう。徐々に記憶は薄れ、無意識下に忘れたという気持ちもあるかもしれない。しかし今、また大地震が何時おきても不思議ではない日常にある。改めて3・11そのものを記憶するため、巨大津波から奇跡的に生還された杉本孝司さん(S.43年生れ・吉祥寺北町在住)の凄まじい体験と教訓を記録しておきたい。武蔵野で津波の心配は無くとも、海岸に行くこともあろう。土地勘の無い場所で被災することもあり得る。氏は現在もPTSDに悩まされながら、少しでも多くの人々に伝えようと、貴重な記録写真もまじえ各所で講演活動を続けている。ぜひ直接話を伺う場を設けることをお勧めしたい。

◆連絡は当会まで。(松岡 裕子)



▲1/20 武蔵野人出演

(杉本氏は燃料系企業の安全防災対策会社勤務、H7.神戸に転勤、阪神淡路大震災で被災。5年前塩釜市に転勤、3・11東日本大震災で巨大津波に流され11時間後、海上自衛隊により救助され生還、その3時間後には救助活動を開始した。家族(妻・子2人)とは4日後に無事再会し避難所で生活後、GWに帰京。武蔵野市消防団第4分団所属。◆以下は12/12「武蔵野法人会」講演メモより。)

巨大津波との闘い〜『3/11塩釜市港湾石油コンビナートで防災安全対策従事中に大地震発生。チリ地震津波の予測2-3mが実際には50cmだったこともあり、津波警戒意識は低く、今回も50cm位だろうと皆が思った。津波警報が大津波警報に変わり10-15mの予報。12m15mと2回襲い、引き波で仙台湾が空っぽになり、深い底が見えた。高さ20mに襲われ、壁のようだった。職場責任者として社員を避難させ、津波襲来直前迄コンビナートのバルブ処置など火災予防を行い、最後に部下10名と自動車にぎゅう

詰めになり80km/hで逃げるが、波が追いつき後輪は持上げられ前輪だけで走った。まるで特撮映画のよう!ついに飲込まれたときは、すぐに外に出れば死ぬだろうと判断、水が車内に浸水してきてから後部ハッチを蹴破って出る。皆で電柱のてっぺんにしがみついたが、だんだん下の方から一人ずつ流されて行った。翌朝まで寄せ波・引き波に繰り返し襲われる。雪も降り寒い、怖い。外洋に出てしまったら大間沖あたりまで流されるか?と頭をよぎる。湾内から絶対に出るまい!8キロ以上流された家屋の瓦屋根につかまり耐えた。』

希望と衝撃〜『水没した携帯電話の電池をはずし乾かしたら電源が入った!助かる予感。11時間後、海上自衛隊に救助された。生存率ゼロと見なされた地域だった。その3時間後から遺体救助活動にあたる。胸まで水に浸かりながら。気仙沼・塩釜の石油タンクも燃えた。3日後も沿岸部はまだ水没状態で、数えきれない遺体が漂っている。死臭がひどい。ウミガメもエイもサメも8-10キロ内陸に打上げられた。最大級のタンカーが護岸に乗り上げており、解体作業。内陸3-4キロあたりには遺体が入ったままの車が打ち寄せられ積上っている。300体位だろうと手が付けられない状態。』

教訓〜『大地震の前兆はあった。地震が頻発し、今までと違い震えるような地鳴り地響きを伴う異常な感じ、縦揺れ横揺れがスパイラルようになって来たので大地震発生を確信した。家族で対策を話し合い、役所の食料備蓄は4日分だが、阪神淡路大震災の経験で個人的には7日分必要と思い妻に用意させた。3/9災害伝言ダイヤル登録。子どもには必ず学校に逃げることを言い聞かせる。結果一人一人学校にたどり着き、屋上からヘリコプターで救出された。昔から津波被害に遭い防災意識が高い地域なので頻繁に訓練をしている。とにかく高台へ!という基本を守った人は助かっている。小学校は毎月避難訓練があり、保護者ひきとり訓練も2ヶ月毎にやっている。その成果で中学生が最も活躍し自ら行動している。』

裕福な地域は特に犯罪に注意!〜『女性・子どもへの暴行、窃盗団の侵入は必ず起きる。あまり報道されないが、発災数日後には西の方から窃盗団がきて略奪が横行した。新潟一山形経由の陸路で入る他府県ナンバー車は、緊急物資運搬車に混じっているのだから。凶器も持っており自警団も役に立たない。GS・家電量販店・ホームセンターから在庫を盗み出し路上で売る。情報が欲しいので盗品と知りつつTVなど買う人もいる。仙台荒浜地区〜空港〜名取沿岸には、指や手首、頭部を切取られた遺体が65体程もあった。水死して膨らんだ身体から貴金属を奪うための残酷な犯罪行為が横行したのだ。明らかに水死や瓦礫による打撲原因ではない遺体もあった。』

避難生活〜『家族とは4日後に再会!安心したら、電柱に引っかけ支えていた左足の痛みが気づき、骨折していたことが判明。消防署の消防車が備蓄倉庫食料も流された。自宅はトイレと浴槽だけ残った。避難所暮らしは朝から8時間並んでおにぎり1個の状態。コンビニが開いてからも数時間並んで肉まん1個、やっと手に入れたそれを譲ってくれた強面のお兄さん、子ども達も知らない人同士が思いやり助け合う経験をした。何でもお年寄り・子どもを優先した。』

忘れないで下さい。他人のことも考えられるようになってください。〜『子どもたちも募金を続けているが、武蔵野に戻り、学校の友達からの「もう3ヶ月経ったんだから終わりにしない?」という言葉にショック!全然終わっていないのに。人によって受止め方がちがうのは仕方ないが、16000人の生命が失われ震災孤児もたくさんいる。義援金は7-80%配られたというが、役所は頼れない。消防団での活動経験は生きた。武蔵野辺りでは津波の心配は無いが、地盤が堅いと直接建物倒壊の危険性が高い。どうしても都心部から優先に救助・救援し、都下は手薄になるだろう。自助・防衛が重要、近隣の助け合いは不可欠。』

鎮魂・使命感〜『年内最後の月命日12/11、現地へ慰霊に行った。南三陸・陸前高田は跡形なく瓦礫すら無い景色。不思議なのは、総て流された浜辺に2-3カ所、林・祠・鳥居が残っている。華奢な木製の(鎮守の森?)。復活する証と思う。まだ自分も家族もフラッシュバックなどPTSDに悩まされている。掴んでいた同僚の手を耐えきれずにとうとう離してしまったという自責の念、生かされたという感謝の思いなど交錯する中、伝えていかなければという使命感で、学校の保護者会や各団体などでの講演活動をしている。ぜひ声をかけて下さい。』

◆1年後 3/11、仙台市はじめ各地区の追悼慰霊行事に参加し、1週間滞る。「復興への道のりは、まだまだ」との実感を嘆息まじりに語った。

「むさしの today」

あなたの町の情報を市民が自宅から毎日発信
月～金(午前9:20～9:30) 11年4 / 1～12年3 / 31放送の話題(3599回～3859回)
再放送「むさしのウィークリー」 毎週日曜日 17:00～

もうすぐ4000回!

「桜の話→那須で桜を植えて来ました」島津好江(関)

「武蔵野に在住した文人、亀井勝一郎・原民喜さん他」岡野正隆(西)「ゴミ環境清掃、朝一番隊、毎日曜各駅清掃」地主一郎(桜)「前進座“チャリティ企画がんばろう東北”」紫野明日香(南)「住民総会、中央コミセン」皆藤弥峰(中)「他人事でなく、自らの足元を見つめ、支援しましょう」新垣俊彦(西)

「境南小・6中の入学式」川鍋和代(境南)「地域の小学校・中学の入学式」島森和子(北)「紙ヒコキで花見をしよう」古野辰哉(本)「震災から一カ月余、地域の防災について」渡辺卓治(八)「声のちから コンサート」高橋洋子(東)

「3.11地震の時、高層に住んで居た人達の様子」内海京子(緑)「災害時のコミセンの対応」井部文哉(東)「23日西コミセン総会」松田正恵(本)「境駅で震災募金活動・社資募金開始」荒川澄子(桜)「日フィル演奏会“春をうたう”」鎌内啓子(北)

「余震の間を縫いながら桜の季節終了と新緑の芽吹きを迎えて」鹿子木孝男(桜)「地図と方角に強くなりましょう」藤川千草(本)「南町フリーマーケット開催」黒木智春(南)「境南地域社協200人に震災アンケート実施」藤田浩子(境南)「駐輪場のこと」今村明美(御)

「雨水について」赤松不二子(関)「南町わんぱく相撲開催」吉岡進(南)「春、新しい時期、地域で始まります」地主一郎(桜)「連休最後は擦り切れた自転車のタイヤを自分で替えよう」星野高明(東)「連休中の吉祥寺イベント」小餅友子(南)

「社資募金活動開始」栢雲劬子(八)「スィングホールで交通安全の集い」川鍋和代(境南)「小さい花と剣山」古野辰哉(本)「ピックアップ(ホームレス自立支援雑誌)日本版紹介」岡野正隆(西)「NPOひまわりママの今日この頃」松田正恵(本)

「チャリティライブイベント“フクシマを唄う”光専寺」鎌内啓子(北)「岡山を旅して」島森和子(北)「玉川上水橋と碑をたどるウォーキング」渡辺卓治(八)「クリーンむさしの、フリーマーケット開催」皆藤弥峰(中)「武蔵野合唱団ガラ・コンサート“絆”開催」山極通夫(西)

「毎年5月12日は“看護の日”」高橋洋子(東)「震災後電力規制で市民一般の出足が殺されたがウォーキング活動は是非続けよう」鹿子木孝男(桜)「九浦の家の集い“東町は暮らし良いのか”告知」原利子(東)「どじょうつかみ大会開催、井の頭公園夕焼け橋」吉岡諒子(南)「延命寺薬師講のバザー」島津好江(関)

「最近行ったバラ園」中川知子(境南)「良い事をみつけること」今村明美(御)「境山野緑地の雨の季節の楽しみ方」田中雅文(境)「九浦のフリマと最近の一般のフリマの様子」井部文哉(東)「武蔵野で観光?どこへ」藤川千草(本)

「第12回お父さんお帰りのさいパーティ開催」井波信一(緑)「やさい食堂“七福”のこだわり」鎌内啓子(北)「読み終えた本をハワイの親友に送る」古野辰哉(本)「地域のコミュニティ・西部コミセン祭り開催」地主一郎(桜)「けやきコミセンにけやき塾発足」島森和子(北)

「交通安全推進員の活動」川鍋和代(境南)「いきいきセミナーで山梨に」岡野正隆(西)「西コミセン地域懇談会」松田正恵(本)「庭の話・サクラソウが満開」島津好江(関)「市立小学校3年生対象“読書の動機付け指導”」高橋洋子(東)

「この秋にワークショップを経て着工」渡辺卓治(八)「“高齢者食事学研究会25周年記念”講演会」庵原さみ子(南)「中央福祉の会講演会“震災心の準備は大丈夫?”」鍵谷一氏」皆藤弥峰(中)「梅雨明けがいつになるのか?気にしつつ来月の歩行計画準備を進める」鹿子木孝男(桜)「マザーズバンド・オレンジのコンサート開催」岡本厚子(中)

「関前5丁目武蔵野農業公園夏祭り」永井政枝(境)「つばさ音楽クラブコンサート開催」東海林未季(西)「むさしのFM聞こえますか?」星野高明(東)「中央福祉の会10周年を迎える」今村明美(御)「市民社協主催七夕の集い・震災支援チャリティバザー」宮原勝子(境)

「女性合唱団“フローラむさしの”定期演奏会」佐藤崇子(境南)「ムチューふれあい祭り開催」吉澤慎行(中)「お父ササロン講演会“自分の身を守る災害時の知恵”」井波信一(緑)「和合亮一コンサート“詩の礎”朗読会」宮島佳代子(東)「西コミフリーマーケット」松田正恵(本)

「平和事業実行委員会バス研修と夏のイベント」小餅友子(南)「境山野緑地と森を育てる会の活動」田中雅文(境)「カレンダーを封筒に」古野辰哉(本)「市民合唱団定期演奏会“歌に思いを込めて”」三井文人(小金井北)「本宿盆踊り・防災訓練実施」原利子(東)

「武蔵野大学公開講座で100名著の話をお聴く」岡野正隆(西)「南町カーニバル開催」児玉言子(南)「エコアップ協議会主催“節電”話」地主一郎(桜)「中央コミ夏祭り」皆藤弥峰(中)「“フクシマを奏でる”フクシマを思う第2弾」鎌内啓子(北)

「熱中症にご用心、夏のウォークは注意」鹿子木孝男(桜)「お盆の行事」高橋洋子(東)「終戦記念日が近づき、その日にまつわる地域のエピソード」渡辺卓治(八)「むさしのジャンボリーに参加して」川鍋和代(境南)「福祉の会とコミセンの連携」今村明美(御)

「西久保公園のたい肥」新垣俊彦(西)「“おしゃべりサロン”」川鍋和代(境南)「九浦の家の庭の生き物探しの講演会」井部文哉(東)「延命寺盆踊り」島津好江(関)「平和へ道武蔵野～戦争も核もない世界を子供達に」小餅友子(南)

「大震災の慰霊と復興・新たな時代へ大火花(長岡)」赤松不二子(関)「節電集会報告を兼ねて危機意識を持つ」地主一郎(桜)「境・団らん老人クラブで歌う会を指導」古野辰哉(本)「湧水の里(滋賀県)へ」岡野正隆(西)「二重被爆～語り部、山口隼氏の遺言(映画)」鎌内啓子(北)

「市主催防災訓練～3中・ゆとりえ・吉祥寺南病院」栢雲劬子(八)「支援者になって」中澤幸子(北)「防災訓練～3.11後取り組みはどう変わるか?」皆藤弥峰(中)「外国人住民と防災」藤川千草(本)「境南町自主防災」渋谷裕二(境南)

「“終戦記念日”に井の頭自然文化園へ」高橋洋子(東)「ルーツを探る会・10周年懇談会開催」渡辺卓治(八)「東日本大震災の次はもう結構だが整備体制は進めよう」鹿子木孝男(桜)「円高の今こそ海外旅行」星野高明(東)「境自動車教習所でフェスティバル開催」小林良太(境)

「第1小ネットワーク防災訓練」松田正恵(本)「南町福祉の会バス研修～日赤千葉県支部義肢製作所見学」吉岡諒子(南)「井の頭まつり開催」今村明美(御)「友愛訪問始まる」松田道子(本)「吉祥寺南病院健康講座“腹部のエコー受診”」長縄修二(南)

「けやきコミ“まちづくりけやき塾”講演会」島森和子(北)「各大学の博物館を楽しもう」岡野正隆(西)「コミセンと防災」井部文哉(東)「地域高齢者居場所“テンミリオンハウス花時計”」藤田浩子(境南)「芸術文化の秋」高橋洋子(東)

「地域の防災力アップの為成蹊大学の学生と訓練」内山裕崇(北)「平和事業実行委員会夏の事業終了、秋に向けて話し合い」小餅友子(南)「親子で紙ヒコキ作り、関前公園・中央公園で飛ばそう」小境範子(本)「大人だっって動物園に」川鍋和代(境南)「叙情歌、なつかしの唄コンサート～青木裕史さん」土屋朝海(北)

「“フクシマを思う”第3弾光専寺にて開催」金子あい(緑)「“青箱”100年記念イベント(菅平、らいちょうの家)」鎌内啓子(北)「お彼岸もろもろ」島津好江(関)「地震半年後の台風水害まだ注意、普段の備えは体力・脚力」鹿子木孝男(桜)「境山野地区(独歩の森中心とした)秋」田中雅文(境)

「夏の関前・八幡まつりで花火、市民の森公園鈴虫のなき声」赤松不二子(関)「長年の夢、コミセンいよいよ着工間近」渡辺卓治(八)「中央コミセンでタウンミーティング開催」皆藤弥峰(中)「吉西公園で防災訓練実施」松田正恵(本)「1中フエスタ開催」今村明美(御)

「健康づくり支援センター講演会」博田美智(北)「シルバースポーツ大会」井部文哉(東)「TERATOTERA祭り“震災と復興”と“東京”をアートで元気に」渡辺有子(本)「“絃奏サウンド”大正琴と三味線ジョイントコンサート」矢野久子(中)「うな鑑で年1回のうな重サービス」星野高明(東)

「上田城を訪ねて」岡野正隆(西)「平家物語“語りと波紋音”大好評」鎌内啓子(北)「福島県五色沼を旅、関古島がなく」古野辰哉(本)「境、杵築大社子供みこし」青山真市郎(境南)「“ラフターヨガと100人コーラス”をします」高橋洋子(東)

「文化祭開催」皆藤弥峰(中)「都防災訓練が小金井公園で4市実施合同」中村茂美(南)「これから各種の防災訓練、どんな訓練が必要か」鹿子木孝男(桜)「八幡町コミセン新築を控えて」渡辺卓治(八)「市民文化祭マジックショー開催」曾根原千鶴子(北)

「芸能劇場で落語会」内海京子(緑)「国際交流祭り」藤川千草(本)「農業ふれあい公園で秋の収穫」永井政枝(境)「FM市民の会バス研修、軽井沢のFM局」小餅友子(南)「実りの秋を感じる」赤松不二子(関)

「御殿山2丁目ハロウィン」今村明美(御)「ヴァイオリン講座15周年記念コンサート開催」村松二郎(南)「都・4市合同訓練に参加して」渋谷裕二(境南)「桜堤・西部コミセン地域の文化祭」地主一郎(桜)「やっぱり最高!吉祥寺発台北」星野高明(東)

「平泉周辺の旅」岡野正隆(西)「本宿コミセン文化祭でフォークダンスで参加」佐藤崇子(東)「クラフトハウス狭さん紹介」古野辰哉(本)「南町フリーマーケット開催」三浦恵美子(南)「秋を探して!」川鍋和代(境南)

「防災ミニフェア開催、コミセン・福祉の会・防災推進員共催」皆藤弥峰(中)「地域子供向けイベント」森真実(境)「関前コミセン30周年」島津好江(関)「けやきコミセン町づくり局アートクラブで柴又へ」吉松杉子(北)「武蔵野市立第三中学校、祝開校60周年」高橋洋子(東)

「シニアネット武蔵野の会開催“良縁親の集い”」井波信一(緑)「チャリティライブ“フクシマの今日を聴く”」鎌内啓子(北)「境山野緑地、紅葉の隠れた名所」田中雅文(境)「今日は市の平和記念日、私の空襲体験は震災と地震災害のイメージが重なって記憶され、生存中続く」鹿子木孝男(桜)「わが町のルーツ10周年」渡辺卓治(八)

「よりよい環境とは」赤松不二子(関)「最近映画を観ましたか?吉祥寺でもっと映画を観よう」藤川千草(本)「小さなコミュニケーションづくり」今村明美(御)「婚活パーティ」露木小夜子(境)「発

信!わがまち・武蔵野人”祝10周年記念コンサート」松岡裕子(三鷹)

「亜細亜大学吹奏楽団第47回演奏会」石塚久美子(境)「お茶碗リサイクルその後」久木野良子(西)「歳末募金が始まっています」松田正恵(本)「水俣・熊本で“フクシマを思う”開催」金子あい(緑)「地域社協活動の様子、バス研も」川鍋和代(境南)

「わが町のルーツを探る会10周年を終えて」渡辺卓治(八)「冬山野緑地を楽しむ、森の手入れの喜び」田中雅文(境)「庭の松樹齢70年の赤松」古野辰哉(本)「清瀬水再生センター見学」新垣俊彦(西)「中央コミセン活動1年を振り返って」皆藤弥峰(中)

「武蔵野市の平和の日、初めて空襲にあった日の事」島津好江(関)「今年のクリスマス」高橋洋子(東)「半世紀ぶりの嵯峨野を訪ねて」岡野正隆(西)「来年は辰年、一層の健康活動定着化に向け、多彩な事業計画を策定中」鹿子木孝男(桜)「吉祥寺駅北口ムーバス乗り場で気がつく事」藤川千草(本)

「エコのカ“環境展示会”エコプロダクツ2011」赤松不二子(関)「新春落語寄席」内海京子(緑)「年末の吉祥寺駅周辺、歳末特別環境浄化推進パトロールに参加」小餅友子(南)「困ります自転車のハイビーム」星野高明(東)「地域社協懇談会に参加して」今村明美(御)

「新成人」小崎可奈(中)「新成人」山本龍平(緑)「西部コミセン新年会」地主一郎(桜)「地域の新年子供会、どんど焼き」皆藤弥峰(中)「こどもテンミリオンハウスでわらべ唄」松田正恵(本)

「老壮連合会新年会に参加」岡野正隆(西)「境南小でどんど焼き」川鍋和代(境南)「紙芝居」古野辰哉(本)「ポイントカード何枚お持ちですか」星野高明(東)「4小の6年生に伝統芸能おはやしを教えて」和久田純子(御)

「まゆだんご」島津好江(関)「環境にも寄与するタケパウダーの研究始める」新垣俊彦(西)「少しづつ帰っている外国人観光客」藤川千草(本)「南町わんぱく相撲1月場所」小餅友子(南)「年末年始の八幡町模様」渡辺卓治(八)

「お正月和歌・能・語り・古典から」高橋洋子(東)「けやき塾」島森和子(北)「チャリティライブ“フクシマを思う4”」金子あい(緑)「時には氷点下や強烈な寒風にも無理をしない程度に対応して歩く習慣を」鹿子木孝男(桜)「昭和の家を和食店にした西萩窪駅前リグンドウ」鎌内啓子(北)

「関前南小でどんど焼き・東京の森の話」赤松不二子(関)「親子ニコニコ広場」今村明美(御)「梅若研能会、武蔵野市公演」青木一郎・健一(東)「深大寺植物園と地袋サンシャインクリスマスローズ

展」永井政枝(境)「南コミセンに太陽光パネルが設置」小餅友子(南)

「社協の地域福祉計画の為の地域懇談会に参加」川鍋和代(境南)「大日向山、太陽寺」岡野正隆(西)「おでんの話」古野辰哉(本)「八幡町コミセン開館に向けて」渡辺卓治(八)「防災ボラとして大震災を踏まえ地域の防災を見直し」渋谷裕二(境南)

「健康支援センター講演会」博田美智(北)「子どもたちのバレンタインデー作戦」中川知子(境南)「第7回施設後サポーター養成講座受講生募集」栢雲劬子(八)「森を知り森を楽しもう、独歩の森と共に暮らす」田中雅文(境)

「むさしの老人クラブ連合会文化祭」井部文哉(東)「華やかなおひなさまから春になり」高橋洋子(東)「青木力也さんのリサイタル開催」鎌内啓子(北)「桜堤に棲みついて約半世紀、自治会創立50周年今企画の最中」鹿子木孝男(桜)「講演会“外国人が聞く地域医療の現状”」藤川千草(本)

「シニアネットむさしのイベント“定年後の夢と現実を語る”」井波信一(緑)「けやきコミセンのひなまつり」吉松杉子(北)「江戸しぐさについての話を聞いて」今村明美(御)「うたごえ喫茶をコミセンで開催」皆藤弥峰(中)「南町防災ネットワーク主催防災バーベキュー」小餅友子(南)

「環境美化推進委員」地主一郎(桜)「むさしの桜祭り会場で行政書士無料相談」岡野正隆(西)「ボケ防止はきょうよう(今日用事がある)・きょうい(今日行く所がある)」佐藤崇子(境南)「武蔵野ギター第22回定期演奏会」関屋いつ子(関)「東町地区にも自主防災組織、世話人決まる」原利子(東)

「けやきコミ町づくりフェスタ・なつかしの唄声喫茶」吉松杉子(北)「震災から1年各地のイベント・思う事」中村茂美(南)「般若心経をペン字で書こう」古野辰哉(本)「1/2成人式」福田真紀(南)「武蔵野自由大学の聴講生として」吉田千恵子(東)

「春を迎えて、音楽・森・散策(スカイツリー周辺)」赤松不二子(関)「コミ研連のスタンプラリーが始まる」島森和子(北)「コミユニス配付が31日まで」松田道子(本)「地域社協活動の様子」川鍋和代(境南)「ご長寿の日野原先生武蔵野へ」高橋洋子(東)

「桜堤団地は高層化で戸数・敷地は半減したが売却地に高層マンションが建ち戸数も回復」鹿子木孝男(桜)「吉祥寺落語事情、コミセン合同落語会開催」井部文哉(東)「座・高円寺2で“平家物語”開催」鎌内啓子(北)「八幡町コミセン着工、地域社協から期待される」渡辺卓治(八)「御殿山2丁目スプリングパーティ」今村明美(御)

* 出演予定者は、タウン情報紙「週刊さちじょうじ」の紙面およびホームページに掲載。

むさしO-FM では、リスナーの皆様からの情報・メッセージをお待ちしています。FAX、e-mailでお寄せ下さい。
TEL 0422-23-0782 FAX 0422-22-9090 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階
http://www.musashino-fm.co.jp 最新トピック・情報交換掲示板 e-mail info@musashino-fm.co.jp

4月から毎週水曜午後2:00~2:20
サテライトスタジオ公開生放送/土曜午前10:00~10:20再放送

むさしのFM市民の会企画「発信!わがまち・武蔵野人」

お相手は 西達彦&亀井薫 パーソナリティ
ギャラリー大歓迎、吉ブラのごついでにお気軽にお立ち寄り下さい。

★インターネットでも同時配信!

世界中どこからも聴け、ユーストリーム映像も。放送後はHPポッドキャストからいつでもお楽しみ下さい。

おかげさまで2011年8月で500回超、12月には10周年記念コンサート開催しました。(P8参照)
この1年は大震災復興支援や原発・エネルギー問題に関わるゲストも多く登場!その輪はさらに広がります。

◎2011年

- 5/6 金子あいさん(緑町)「フクシマを思う」チャリテライブ5/16光専寺。急遽企画の思いは?
5/13 「ゴマアブラ」男4人ソウルファンクバンド。祝☆吉音コンテストGP! FMレギュラー番組7月~
5/20 小塚守さん(本町) 武蔵野消防署は大震災大津波被災地気仙沼で救援活動従事。水防訓練も。
5/27 近江喜一郎・上村綾子・外川康徳さん(南町) スピーチコミュニケーション! 吉祥寺トーストマスターズクラブ
6/3 塚田亮さん(本町) 吉祥寺のおでんダネ・蒲鉾・練り物の老舗「塚田水産」三代目、ウェブサイト戦略も
6/10 庵原えい子さん(南町) 高齢者音楽療法ボランティア「うたって元気・こころとからだ」実践テキスト出版
6/17 橋川明宏・松本典子さん(境南) 吉音ファイナリスト&マネジャー。大震災支援KOKORO AID PROJECT 参加
6/24 山口通さん(下連雀) NHK人気ドラマ「チャレンジD」中途失職熱血教師モデル、ダイアログインザダーク挑戦
7/1 米田佐代子さん(中町) 「青靑」百年記念、平塚らいてう肉声50年前の録音発見! 女性史研究家
7/8 澤田理絵さん(下連雀) 大震災チャリティコンサート連続開催! 盲目ソプラノ歌手は都立高校講師 CDも
7/15 松木会美子さん(南町) 人気アオザイのオーダーいかが? ベトナム民族衣装雑貨店「モクチョーイ」
7/22 田中千枝さん(境南) 元東フィルVla. 奏者。幼なじみ日フィルVn. 奏者とテンミリオンハウス花時計コンサート
7/29 手代木克介さん(南町) 「BBQ HOKKAIDO」白樺イメージで開店! ワイン・スープカレー・焼物おすすめ。
8/5 長縄修二・伏田さい子さん(南町) 地域医療担う吉祥寺南病院・訪問看護ステーション。コミセン講座も66回超
8/12 鈴木里佳さん(境) 亜大ホスピタリティ学科2年。震災大津波被災宮城県唐桑で民家瓦礫処理88名参加まとめ役
8/19 清水泰郎さん(本町) 「打ち水音頭」作詞作曲者。猛酷暑・節電の夏に益々全国でブレイク!
8/26 長谷部智洋・野口泰斗さん(境) 大震災長野県栄村(震度6) 野菜を夏祭で販売支援! 亜大一般奉仕会「細流」
9/2 戸所保忠さん(中町) 高校生転編入・不登校転学希望「NPO一人ひとりに合った進路相談センター」教授
9/9 成宮一暢さん(緑町) 感謝込めた自作曲CD「しあわせ夫婦」制作! ムーパーク責任者の仕事は?
9/16 平原逸郎さん(境南) 次世代へ。武蔵野の景観・明治大正昭和初期洋館巡り etc. 好評! 水彩画一筆箋



豊富な経験から良い歌をたくさん掲載。きめ細かく編集した愛したテキスト。ぜひ広く活用を! 庵原えい子さんと仲間(6/10)



心の動き色彩を幅広い表現力と語るシンガーソングライターとしっかり女房、最強コンビですね! タチー・橋川明宏・のりこ松本典子さん(6/17)



「味の時計台」など人気店プロデュースの後ついに自身の店オープン! 井の頭公園からの風もさわやかに。手代木克介さん(7/29)



被災地民家支援ボランティアは五臓六腑を出し中心、鉄腕の中敷を入れた安全靴は必須! 女子もたくましく! 鈴木里佳さん(8/12)



心のこもった作品が形に! 全曲放送がたつてのご希望でしたが、ムーパークのBGMはいかが? 成宮一暢さん(9/9)

電気製品トリセツの精密度などが専門。風景スケッチ彩色は1時間ほどで完成! 健康の業は毎朝のラジオ体操。平原逸郎さん(9/16)

伝統の音色を継承し、邦楽の魅力を次世代へ! 強く優しくしなやか、本当の和の音の姿。大浦美紀子さん(9/23)

キャンパスと吉祥寺の街をもっと一体化したい、仲間たちのアート才能PRも。ぜひ後輩に継承してね! 郡司駿さん(9/30)

- 9/23 大浦美紀子さん(井の頭) 三鷹市三曲会会長。波乱人生を乗り越え子どもたちの指導も尽力! 10月演奏会
9/30 郡司駿さん(北町) 成蹊大100周年記念! アニメワンダーランド初参加。理4年ボランティア本部広報局長
10/7 福原良英さん(下連雀) 盲目のマラソンランナー、ダイエット目的から国際パラリンピック優勝入賞常連に
10/14 たこきょうこさん「TERATOTERA祭り」アートで街を元気に東京都文化発信プロジェクト。福島連携!
10/21 平野幸子(関前) 渡辺隆子(中町)さん 祝★テンミリオンハウスあおば10周年! ひまわりママ会員の役割拡大
10/28 荒木哲郎さん(北町) 武蔵野消防署、都・小平・西東京・小金井市が合同総合防災訓練、10/29 小金井公園
11/4 安田知代さん(牟礼) 3.11後の未来世代へ! 地と人をつなぐ仕事「地営業じえいぎょう」始めよう講座
11/11 高山蘭さん(南町) ピアレ스토랑・ブラムス吉祥寺店開店。定番洋食デミグラスソース・厳選ワインも
11/18 作道清行さん(東町) 最古の町会「新生会」本宿コミセンコンサート 11/27
11/25 會田昭一郎さん(国立) 舌がん体験からの放射線治療セカンドオピニオン。"市民のためのがん治療の会" 代表
12/2 星野高明さん(東町) 市主催(節電・省エネコンテスト) サンロード商店街ジャズボットのビルがアイデア賞
12/9 山崎義勝さん(本町) 市無形民俗文化財指定40年「むさしのばやし」来年生誕150年。次世代へ繋ぐ保存会
12/16 築地律さん(大沢) 「星と森と絵本の家」館長。国立天文台・三鷹市・市民協力の成果! 開館3年6万人来場
12/23 加藤綾音さん(野崎) 「三鷹子供の学校」代表。福島の子供を招き18日間サマーキャンプ開催とその後



どれも興味深い6回講座! 素直な感覚・アイデアをビジネス化。400年先の地球・子孫への愛ですね。安田知代さん(11/4)



進行した舌ガン克服10年超。会話は食事も普通に! 医師・病院選択は患者の情報力と判断力。會田昭一郎代表(右) 支援者村松さん(11/25)



子ども障子はまず太鼓、素質によって笛も。自身は11歳から修行! 2代目会長の本来は建設業。山崎義勝さん(12/9)



シンボルマークは名前そのもの。蔵書は科学分野の絵本に特化。和室で読書! 季節の絵本も。築地律さん(12/16)

◎2012年

- 1/6 永綱憲悟さん(境) 亜細亜大学国際関係学部長。新設「多文化コミュニケーション学科」を目指すもの
1/13 岡島孝彦さん(本町) とらふぐ専門「玄品ふく」吉祥寺の関店長。カラーゲンゼリー女子会プラン好評
1/20 杉本孝司さん(北町) 転勤先宮城で3.11巨大津波に襲われ11時間後、海自に奇跡的救助! 体験を講演活動中
1/27 渡辺由貴さん(上連雀) サイレントカフェ起業(ハモニカ横丁&五日市街道)。聴覚障害スタッフ接客手法に注目
2/3 金子茂夫さん(南町) 蕎麦に味酒「よしむら」三代目店主。自家栽培の野菜・直送の鮮魚・器も厳選こだわり
2/10 松井隆雄さん(境南) 武蔵野プレイス・カフェフェルマータ店長。夜はお酒! 自主企画トークンアバウトも
2/17 平子春瑠さん(本町) がんばろう日本・みんなと共に。東北6県扱「東北物産館」店長、防災ウェア特許!
2/24 阿部笛子さん(関前) グループホーム「光風荘」施設長。認知症の方2グループ18名、地域にとけ込んだ生活
3/2 星田正さん(北町) 心も身体も健康に! 健康推進員活動とボランティアで訪問コーラス活動も
3/9 手塚一郎さん(本町) VIC社長。新旧混在の魅力、店主奮闘など話題本「吉祥寺 横丁の逆襲」への逆襲とは
3/16 加藤篤彦さん(関前) 武蔵野東学園第1・2幼稚園長。自閉症児童含む600人混合教育、ポストン校も注目
3/23 山本富士雄さん(本町) 住宅業界を憂うベテラン建築家が「骨太構造・無垢木造200年住宅」を提言
3/30 東村邦子さん(南町) 「大鹿村騒動記」舞台の村に移住、村議当選! 村おこしと対リニア工場の活動
4/4 川上好子・小森ひろみ・田中奈桜・片桐そのか・南方さえさん「伝統文化子ども詩吟教室」新中1の吟詠。
4/11 小林泰夫さん(緑町) シャンソンの会・ベルフォーレ会長・石川美恵子さん(西久保) アルテ発表会。
4/18 金聖雄さん(関前) 障害者家族ドキュメンタリー「空想劇場・若竹ミュージカル物語」監督。スイング上映会
4/25 風月さん(八幡町) 女流書道家、武蔵野に開塾25年超! 子供育成にも尽力。芸能劇場で門下生展覧会



「在中中にアジアの言語を一つマスターし現地で実践を! 熱く語るロシア政治・テロ研究が専門の永綱憲悟教授(1/6)



「在学中にアジアの言語を一つマスターし現地で実践を! 熱く語るロシア政治・テロ研究が専門の永綱憲悟教授(1/6)



ふくしーズンは忙しくて疲れます! そんな風には見えない楽しい大阪人の岡島孝彦さん(1/13)



そのバイタリティは皆を温かくし感涙! パナナミルおもしろ! バレンタイン教室も開催 渡辺由貴さん(1/20)



三鷹富士学院は通信制で資格を得るサポート、個人のペースにあった指導30年。女子は元気! と戸所保忠先生(3/2)



「在学中にアジアの言語を一つマスターし現地で実践を! 熱く語るロシア政治・テロ研究が専門の永綱憲悟教授(1/6)



市内で最初の開設。家事・趣味・季節行事など入居者の日常生活を優しく見守る阿部笛子さん(2/24)



「味の時計台」など人気店プロデュースの後ついに自身の店オープン! 井の頭公園からの風もさわやかに。手代木克介さん(7/29)



「在学中にアジアの言語を一つマスターし現地で実践を! 熱く語るロシア政治・テロ研究が専門の永綱憲悟教授(1/6)



認知症予防プログラムや各種講座、料理・健康麻酔・音楽の会、他地域の先進的会と交流も。星田正さん(3/2)

ICU時代ビデオ情報センター設立以来、独自の物販・飲食店経営で街の発展を牽引! いつも歩いていて手塚一郎さん(3/9)

日本全国から集まる自閉症児を幼稚園から高専まで一環教育。30年の経験、優しく自信に満ちたまさしの加藤篤彦さん(3/16)

大鹿村移住10年・吉祥寺はふるさと! 故郷田舎から映画ロケのエピソード、環太の頭の手ぬぐいも制作。東村邦子さん(3/30)

リズムを大切に指導でくと上達! シャンソンの人生の友、憧れと思い出を胸にステージへ。小林泰夫さん・石川美恵子さん(4/11) 右後ろは新登場の亀井アナ。

感謝

「発信!わがまち・武蔵野人」10周年記念コンサート(12/4南町コミセン地下ホール)

ラジオファン・音楽ファン約100名来場、異なったジャンル&いずれも実力派「武蔵野人アーティスト」4組の熱演を堪能!会場外では出演者CD、「モクチョーイ」「スモールデザイン」「平原逸郎画伯」「日フィル武蔵野の会」グッズ販売も。当日の様子は「武蔵野三鷹ケーブルTVニュース」で紹介された。



▲2009年9月番組出演アルトサックス 中嶋香緒さん「ナカジマ・カオリ カルテット」。



▲2008年2月番組出演「MINAMI & MIKI」 オーボエ 下羽 南さん・ピアノ 片山未来さん



▲2011年1月番組出演 バンドネオン 大久保かおりさん



▲2010年11月番組出演 ソプラノ 湯浅桃子さん (ピアノ 矢野里奈さん)

☆研修バスツアー (10/25)FM軽井沢・セゾン現代美術館・内村鑑三記念館「石の教会」・上田市の出征戦没画学生作品展「無言館」など。



▲青沼昭氏

著名な避暑地としての独自の存在感を活かし世界に発信する「FM軽井沢」は駅ビルにある。万平ホテルの佐藤泰春氏が創立し10年、新社長に就任された青沼昭氏が今後の経営戦略を熱く語った。隔月発行フリー広報誌「プラチナマガジン」は読売旅行の井本氏が責任編集で読み応え充分な約60頁、国会議員にも配付するなど特に力を入れている。番組は24時間すべてオリジナルでサイマル放送、地元だけでなく東京や海外の番組制作者ともネットワークで繋ぐ、地元企業以外に大企業もスポンサーに、とコミュニティ FMのイメージを破る活動に目を見張った。昨今は都心からリタイア移住「新住民」がヘビーリスナー層で、毎日のモンキーレポートや熊出没情報も重要。大賀ホールを中心会場に「軽井沢音楽祭」を牽引し、プームの自転車ラリー大会もグルメと組み合わせ盛上げる。なお、3・11フクシマ事故後は逸早く原発反対を表明した。



▲晩年を過ごした星野に「内村鑑三記念館・石の教会」が、アメリカ人建築家ケロック氏設計で2000年竣工。近くの「セゾン現代美術館」イサムノグチ、安田侃の作品に匹敵するような彫刻的建築、祈りの空間と展示室。結婚式もOK!

☆防災訓練特番中継レポート (8/21豪雨で中止)・(1/14武蔵野文化会館展示室～災害時ボランティア受入れ訓練・大船渡市社協ボラセン伊藤勉氏講演。)

◎亜細亜大学「街づくり未来塾」松岡 裕子 講演 (6/27)演題「コミュニティFMで市民情報発信 16年、その意義は?」・連続討論会(7/11)



ラジオを持っている学生はたった2人。もはや若者にはサイマル放送(インターネット同時放送)が不可欠!という印象とともに、3・11大震災でラジオを見直したという感想もあり、ラジオファンが増えるか?!



▲運営・協力委員を紹介。左から鹿子木・小餅・中村(栗田教授)・島津(松岡)・高橋。「むさしのtoday」レギュラーとしてもお耳馴染みメンバー。



▲「武蔵野人」ゲストから、境1丁目目でネット古書店 兼 実店舗「浩仁堂」を起業した社会福祉士、直志氏を紹介。精神障害者雇用ビジネスモデルとして注目!

『市民側からの情報こそがコミュニティFMの生命線。多くの市民が放送に関わるのがリスナー増に結びつき、日常から親しんで初めて「いざ災害」のときに機能する。出演ゲストをその後も応援。「むさしのFM」を要に、出会いと、ゆるやかな連帯を目指して活動を継続していく。街づくりも大学も主役は建物ではなく、人々の魅力と人間同士の温かい交流が原点。パーソナリティが話しかけるラジオは、孤立化する現代人・高齢者の心の友にも。』

★メディアフェス仙台3・11被災地特別編(9/24仙台メディアテーク1F)



当初、開催中止を決定していたが、被災地の市民メディア活動報告に特化してシンポジウム・展示を実施。情報が途絶え「災害臨時FM」がコミュニティの拠り所・希望となった日々、SNS活用で聴覚障害など情報弱者を遠方から支援する幅広い活動など、市民の誠意と知恵に力強さを感じた。(松岡)